

白石市民活動支援センター

11月1日オープン

市内でボランティアや市民活動をしている団体の活動拠点・活動を支援するための施設として、白石市民活動支援センターが十一月一日、城東コミュニティセンターわきにオープンしました。

センターの運営に当たるのは、市内のボランティア団体など十六団体で発足した、白石市民活動フォーラムで、市民活動の情報交換などを通して相互の活動を支援し合います。

施設利用と加入団体を募集

市民活動支援センターは、自由な時間で利用できるように、「市民活動フォーラム」が自主運営します。年費三千元が必要となります。

市民活動フォーラムでは、自主活動の輪を広げ、よりよい地域づくりができるよう加入団体を募集しています。

また、市民活動団体の活動状況や地域活動などの情報を収集していますので、活動の情報提供をお願いします。



城東コミュニティセンターわきにオープンした「白石市民活動支援センター」

願います。

センターのボランティア募集
市内各団体の情報提供、会議室・機器などの使用管理などをしていただけるボランティアの方を募集しています。

問い合わせ
振興課
☎22 1324
白石市民活動支援センター
☎22 6880
☎22 6881

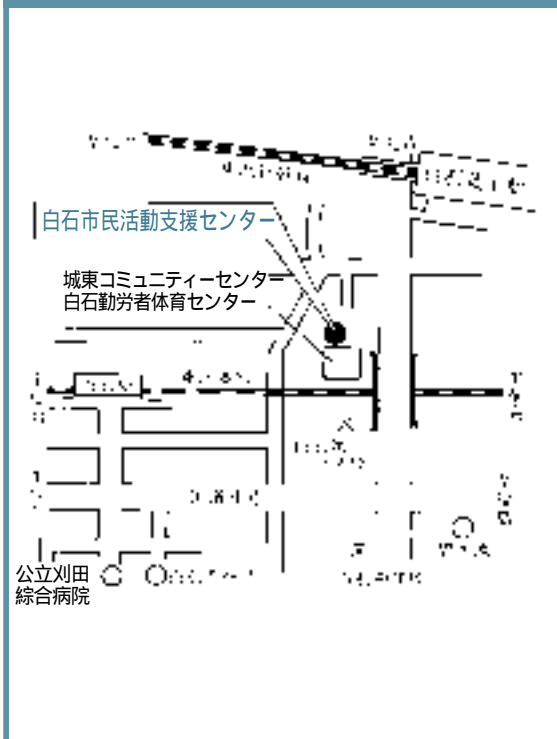
センターの概要

- ・場所...城東コミュニティセンターわき
- ・事務室..... 14㎡
- ・作業室..... 14㎡
(印刷機、コピー機、紙折り機、裁断機、団体用ロッカー)
- ・会議室1..... 14㎡(10人定員)
- ・会議室2..... 18㎡(20人定員)
ホワイトボード付き



白石市民活動支援センター略図

案内図



作業室



会議室2



事務室



会議室1

平成11年度

公立刈田総合病院の経営状況

診療機能の充実と

医療サービスの向上を図りました

医療ニーズの多様化と、高度専門化・細分化される医療情勢の中で、刈田病院では、より質の高い良質な医療サービスを提供できるよう日々努めてまいりました。

また、診療機能を充実させるため、病理組織標本自動処理装置、人工透析診療管理システムなどの新規購入や、超音波白内障手術装置、上部消化管汎用ビデオスコープなどを更新し、医療機器の整備を図りました。さらに、毎週土・日曜日については、内科系と外科系の二名の医師が日当直体制に当たり、住民の皆様へより充実した救急医療を行ってまいりました。

丸となって経費の節減に努めました結果、五千五百九十九千円余前年より減少し、費用総額は四十七億五千七百四十五万六千円余で、収支差し引き六百七十八万三千円余の純損失となりました。これは、前年度より一億二千九百九十二万八千円余の赤字が減少したことになります。

況が続いておりますが、地域住民の医療福祉増進のため、高度・特殊・先駆的医療の充実や地域医療の確保を図ってまいります。また、地域の中核病院として信頼される病院体制確立のため、職員の資質の向上と経費の節減に努め、財政基盤の確立と経営の健全化を図り、より質の高い患者サービスを目指します。

患者さんの数は、平成十年度と比較して、延べ数で入院は二千六百十三人の減少、外来は二千四百人の減少となりました。

また、収入においては、入院収益で四千五百六十八千円余、外来収益では五千六百二十六千円余それぞれ増収となり、収入総額は四十七億五千六百七十七千円余となりました。

一方、支出においては、職員一

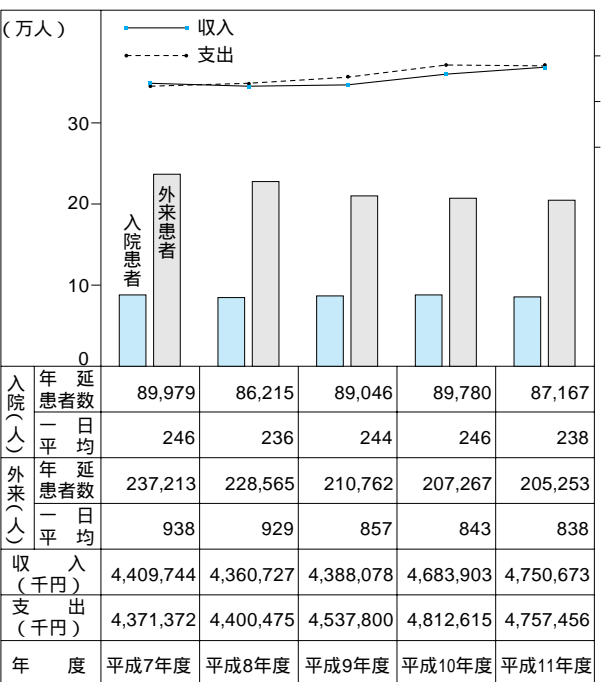
平成11年度診療科別患者数

診療科	患者数
内科	74,301人
小児科	11,140人
整形外科	20,727人
外科	16,920人
産婦人科	4,434人
耳鼻咽喉科	10,204人
眼科	21,514人
皮膚科	13,829人
泌尿器科	10,110人
循環器科	22,074人

入院患者数 延べ 87,167人 1日平均 238人

外来患者数 延べ 205,253人 1日平均 838人

年度別状況



平成11年度収入・支出

